

藤本浩一 （藤本浩一） 詩人。明治二十六年愛媛縣伊豫二島生れ（一九〇三）。

昭和二年關西大學專攻部文學科卒。詩劇、歌謡創作の傍ら日本神話、

民謡探索に従事。戦後詩誌『日本詩壇』の編輯に参劃。

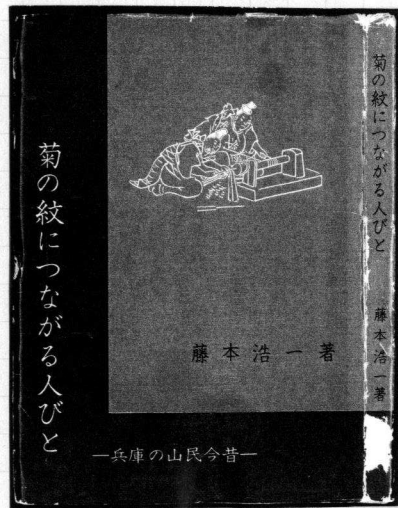
著書に、劇詩『關の彷徨』（昭和五年十一月二十五日大地舎）、詩

集『夜光虫』（昭和二十六年十月一日兵庫・藤本浩一作品刊行会）、

『菊の紋に つながる人びと 兵庫の山民今昔』（昭和四十年十一月二

十日兵庫・のじぎく文庫）、『鈴蘭村ーライム奉仕するニ上代女史

の愛の伝説』（昭和四十二年八月二十日増進堂）等。



菊の紋につながる人びと

藤本浩一 著

—兵庫の山民今昔—